

経営比較分析表（令和4年度決算）

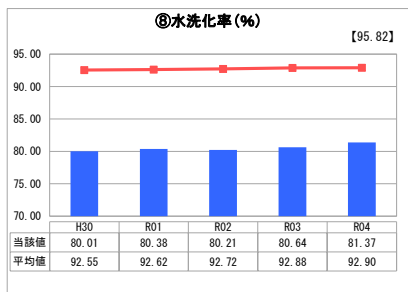
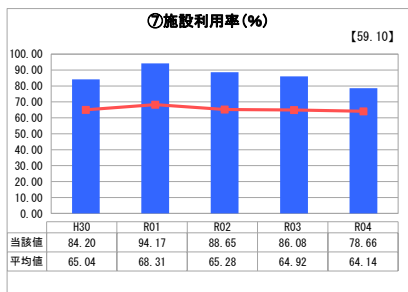
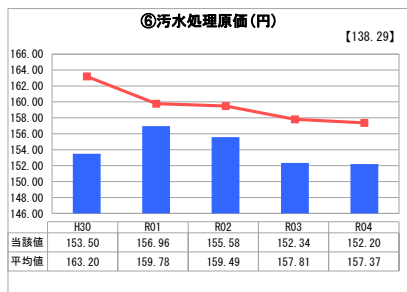
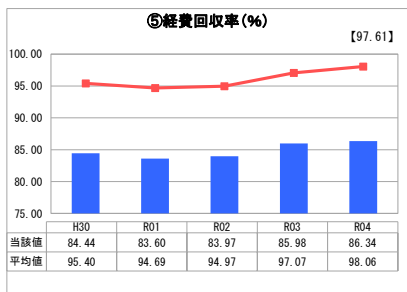
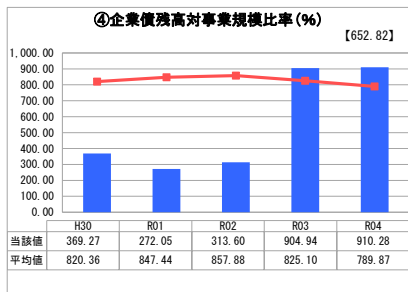
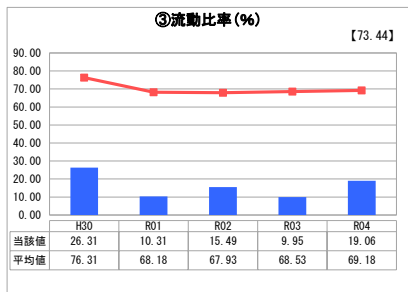
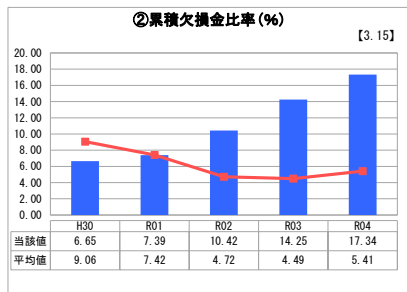
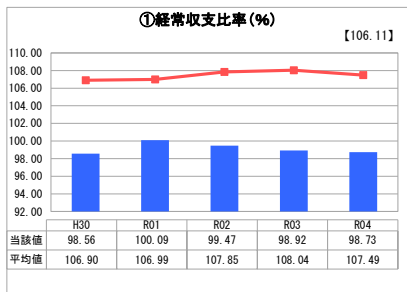
石川県 加賀市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	41.19	52.87	71.42	2,700

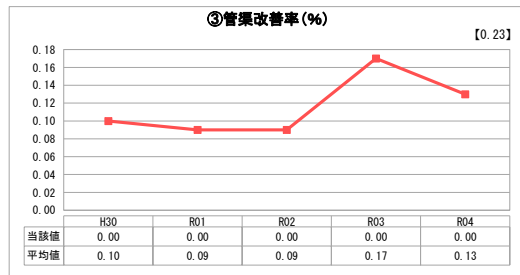
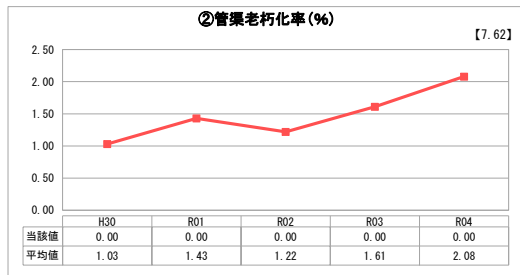
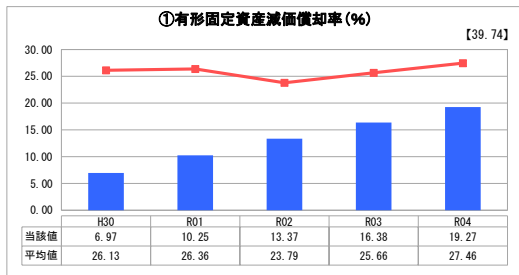
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
63,486	305.87	207.56
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
33,367	9.30	3,587.85

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
[]	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

類似団体平均値と比べ、経費回収率、流動比率、企業債残高対事業規模率、水洗化率、累積欠損金比率が劣った数値となっている。

使用料収入で経費を賄うことができず、赤字が累積している状況であることから、現金の不足を他会計からの長期借入に依存せざるをえない状況である。

加えて人口減少による減収により厳しい経営状況が続いている。

また、水洗化比率が低いことから経営安定に向けて、使用料収入を増やすためにも下水道整備済区域の未加入者に対するの周知啓発を強化し、加入促進を継続するとともに、料金改定について検討を進めていく。

2. 老朽化の状況について

老朽化した施設や管路の更新・長寿命化対策が必要となってきている。

老朽化更新需要が増大していることから、令和2年度に策定したストックマネジメント計画に基づき、投資を標準化し収支バランスを見ながら計画的に実施していく。

全体総括

管路及び処理施設の老朽化対策の必要性が高くなってきており、経営改善策として料金改定、投資計画の見直し、管路等の更新の標準化を行う必要がある。

また、2つの浄化センターを統廃合し、処理区域を統合する計画に基づき、財務状況を適切に把握しながら最適な投資規模、料金水準について取り組む必要があると考えている。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。